

議会だより みなかみ

雲外蒼天

令和4年(2022年) 69号
1月15日発行

特集

ここに注目！
令和2年度事業検証

12月定例議会

ここに注目！

令和2年度事業検証…………… 2

本会議審議内容及び結果 …… 4

一般質問…………… 8

この町あるある…………… 20



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

ここに注目！ 令和2年度事業検証

令和2年度一般会計歳出の決算額は159億3938万円でした。コロナ禍に関する事業費が含まれ、平時の歳出額と比較できませんが、突出して多額でした。その中で、議会が注目した事業を検証します。

新中学校開校！



新しい校章は、小学生90点、中学生51点、一般48点の応募の中から選ばれました。



【校舎の改修にかかったお金】

・令和2年度	2億163万円
・令和3年度（見込み）	3億8043万円

新しい制服



新校歌のQRコード

議会よりひとこと

統合に向けて、校名、制服等、校章、校歌、学校運営、部活動の活動方針やユニフォームなど、本当に様々な分野で数多くのことを、保護者や教育関係者を中心にした組織で、一つずつ決定してきました。生徒の交流授業や、保護者・地元への説明なども丁寧に進められたと感じています。

「郷土みなかみを愛し、思いやりを持って、たくましく生きる生徒の育成」を目指し、学校と地域が力を合わせていただきたいと思います。

商品券の使われ方は

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「コロナ撲滅支援金」として、全町民に一律で1万円分の商品券を支給しました。



議会よりひとこと

1人一律10万円の現金給付では、消費に回ったのは3割程度という調査もありました。町内利用に限定された商品券は、町内業者への支援につながったと考えます。また、商品券の有効期限を11月末と短く設定したことは、早期に町内経済を活性化するために効果的であったと思います。

しかし、町民のニーズと町内業者を支援するという町の考えに隔たりがあり、町民から「町内の大型ショッピングセンターで使えない」との声もありました。支給方法に関する議論と共に、今後の支援のあり方についても議論を深めていきたいです。

臨時特別商品券事業

1億8366万円

・町民が商品券を使ったお金	1億8173万円
・事務を委託したお金	193万円

・発行数	1万8472人分
・利用できた店舗数	244店舗
・商品券の換金率	約98%

学校でタブレットを

国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末を配付しました。また、学校内の高速通信ネットワークも整備しました。

・1人1台端末を購入したお金	5244万円
・先生のサポートにかかったお金	776万円
・ネットワーク工事にかかったお金	5080万円



議会よりひとこと

学校のネットワークは、現行の無線LAN環境をベースに高速化され、更に学校統合をふまえた整備がなされています。また、1人1台端末は、県の共同調達に参加し、スケールメリットを活かした金額で導入されました。学校現場で指導する先生方をサポートする体制も整えられています。

コロナ禍では、対面授業かオンライン授業か選べる対応等が求められます。できることを探りながら、子どもの安全と学びを両立させ、子ども達に情報機器の正しい使い方を教えてほしいと願います。

公立学校情報機器整備事業

8362万円

学校情報通信ネットワーク 環境施設整備事業

5080万円

11月30日から12月10日までの会期で12月定例議会を開いた。発議2件、報告、承認、各1件、条例5件、その他8件、補正予算2件を審議した。
一般質問は11人であった（8～19頁）。

審議内容及び結果

議会の流れ

- 11月30日 本会議
一般質問
- 12月1日 本会議
一般質問
- 12月2日 本会議
一般質問
議会運営委員会
議会全員協議会
- 12月3～7日 常任委員会
総務文教常任委員会
厚生常任委員会
産業観光常任委員会
- 12月8日 特別委員会
議会だより編集特別委員会
月夜野地区統合小学校の理想
の教育環境検討特別委員会
- 12月10日 本会議

発議

議員定数削減

条例で定められる議員定数「18人」を「14人」に改正。次の選挙から適用される。

議会全員協議会等において慎重に検討を重ね、議会の権能を維持し、かつ最小限の構成で議会運営ができる適正な定数を14人とした。議員定数削減に伴い、常任委員会の名称・所管・定数を改正し、経費削減や事務事業の効率化等の更なる行政改革を進める。

賛成討論 牧田直己議員

これまで本発議について、議会全員協議会等で議論を重ねてきた。町の様々な行財政運営の課題に目を向けながら、町の将来を見据え、議員定数削減が必要であるとの意見がまとまった。

定数については、県内の町村及び全国の類似団体の状況を把握するなど、様々な角度から検討し、14人を妥当とした。

町の人口に対する議員数や、新たな常任委員会の運営方法などを考慮し、本町議会の機能を維持し、議会運営ができる定数は14人である。



補正

総額 147億1454万円

補正額 5435万円

△はマイナス（端数処理あり）

歳出

真沢ファーム交流施設管理運営事業……	400万円
子育て家庭住宅整備費補助金……………	1300万円
下水道事業特別会計操出金……………	2000万円
その他……………	1735万円

歳入

地方交付税……………	7億 573万円
繰入金……………	△6億 6622万円
町債……………	950万円
その他……………	534万円

条例

国民健康保険税の均等割

国民健康保険税は、応益（均等割・平等割）と応能（所得割・資産割）に応じて設定される。
町の均等割は被保険者一人につき、医療分2万6000円、後期高齢者支援金9700円。

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもの均等割を軽減。対象は全世帯の未就学児にかかる均等割で、その半分の公費により軽減する。

監査

10月29日 監査委員工事監査

町道藤原粟沢線藤原湖大橋橋梁補修工事・町道悪戸矢瀬線道路改良工事・下津中村地区農作業道



町道悪戸矢瀬線道路改良工事

整備事業・新みなかみ中学校外構改修工事の現地調査を行った。工事が適法かつ合理的・能率的に行われているか、工事監理・監督は適正に行われているかを重点項目とし、事業概要資料に基づき、担当職員等への質問を行い監査した。
その結果、特に異状がないこと、問題点がないことを確認した。

陳情

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第6号 安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める陳情書	群馬県前橋市本町3-9-10 群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	厚生常任委員会 不採択すべきもの	不採択
第7号 奥利根アメニティーパークの老朽化したRDF固形燃料化施設の廃止とごみ行政の見直しを求める陳情書	みなかみ町新巻1225番地 みなかみ町のごみ問題を考える会 代表 大坪 進	厚生常任委員会 不採択すべきもの	不採択

陳情第7号（採択に対する） 反対討論 茂木法志議員

RDF固形燃料化施設の廃止計画を迅速に進める考え方には賛同するが、日々搬出されるゴミをどう処理していくかとの課題と切り離せない。単に現存施設の廃止だけでは、ゴミの課題は解決しない。また、ゴミ分別資源化の推進、ゴミ処理経費の削減も考え方には賛同するが、生ゴミの堆肥化設備の老朽化対策、回収品目の細分化などの議論を進めるべき。

ゴミ袋の無料化は、有料であることで、ゴミの排出抑制、分別意識の啓発、資源化により減量化に結びつくと考える。販売価格を下げる努力は必要だが、無料化すべきではない。このことから趣旨採択の選択もできず一部採択も選択できない。



指定管理者
の指定

施設名称	指定管理者	指定期間
みなかみ町水紀行館（交流促進センター・活性化センター・水産学習館）	（株）水の故郷	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
みなかみ町奈良俣サービスセンター	（株）水の故郷	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
みなかみ町相俣ダム周辺レクリエーション施設（湯島オートキャンプ場）	（株）猿ヶ京温泉夢未来	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
湯桧曽公園	ゆびそ塾	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
みなかみ町湯桧曽地区足湯	ゆびそ塾	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
みなかみ町永井宿郷土館	永井区	令和 4年 4月 1日～令和 7年 3月31日
みなかみ町武尊青少年旅行村	（株）みなかみ宝台樹リゾート	令和 3年12月15日～令和 7年 3月31日

12月定例議会議案及び議決結果

議案番号	議案内容	議決結果
発議 第 3 号	議会議員定数条例の一部を改正する条例	全会一致可決
第 4 号	議会委員会条例の一部を改正する条例	
報告 第 18 号	令和2年度（繰越）災害復旧事業下羽場地区頭首工災害復旧工事請負変更契約の専決処分報告	全会一致承認
承認 第 7 号	一般会計補正予算（第4号）の専決処分報告	
条例 その他	第 53 号 災害復旧事業下羽場地区頭首工災害復旧工事の建設工事請負契約の締結	全会一致可決
	第 54 号 税条例の一部を改正する条例	
	第 55 号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
	第 56 号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	
	第 57 号 福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	
	第 58 号 スクールバスの設置に関する条例の一部を改正する条例	
第 59～65 号 指定管理者の指定		
補正 第 66 号	一般会計補正予算（第5号）	
予算 第 67 号	下水道事業特別会計補正予算（第2号）	



活動報告

議会だより編集特別委員会

11月18日に群馬県市町村会館で開催された、議会広報研修会に参加。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年に続き二日間2班に分かれての開催となった。全国町村議会広報コンクルの審査員を務める芳野政明氏を講師に招き、「住民に読まれ、議会活動が伝わる、議会広報の基本と編集」と題しての講演後、他町村の議会広報の優れたところや改善課題を確認、今後の編集活動に生かす基本姿勢を学んだ。

これからも議会広報誌に対する技術を高めるとともに、住民にわかりやすい紙面作りに努めていきたい。

活動報告

総務文教 常任委員会

10月13日に、新設された月夜野中学校の図書室を視察。

町は令和4年4月の中学校統合に向け十分な広さを持ち、約17000冊を収蔵することができ、図書室を新設した。

視察の目的は、新たに通う生徒たちにとって使いやすく、居心地の良い空間となっているか、確認を行った。

図書室の印象は、生徒が本を手に取りやすい環境に整備され、読書を支援する学校図書司書の配備など、生徒が読書をいそしむための環境整備が着実に進んでいると感じた。

また、新年度に入学予定の小学生が、図書室の見学に参加する等、小・中学校の連携も進んでいることがうかがえる視察となった。

活動報告

産業観光 常任委員会

9月24日に真沢ファーム交流施設、11月9日に災害復旧工事現場を視察。

真沢ファーム交流施設

当施設は旧月夜野町時代に建設され、体験農場を備えた宿泊施設として、20年以上親しまれてきた。今後は一定期間総務省地域人材ネットに登録された「地域力創造アドバイザー」を活用し、現状の交流施設としての活用目的を維持しつつ、宿泊と日帰り入浴に加え、ニーズの高まりのある「ワーケーション」や「テレワーク」に対応する機能を取り入れ、運営を行う予定である。

災害復旧工事現場

令和元年の台風19号により赤谷川が氾濫し、破壊された弁天用水の取り入れのための頭首工の復旧工事現場を視察した。

この用水は押出地区の受益面積約6ヘクタールの水田に水を引き込むための重要な役割を果たしている。



真沢ファーム交流施設



赤谷川氾濫、頭首工復旧工事



事前通告一覧

石坂 武 いしざか たけし

- ①道路台帳整備後の事業展開は
- ②都市計画税廃止地区への対応は

阿部 賢一 あべ けんいち

- ①新生みなかみ中学校開校に向けての取り組み
- ②福祉の充実

阿部 清 あべ きよし

- ①犬猫殺処分ゼロに向けた取り組み

本多 公保 ほんだ きみお

- ①みなかみ町における太陽光発電設置

窪田 金嘉 くぼた かねよし

- ①一般質問3年間を検証 その2

中島 信義 なかじま のぶよし

- ①谷川岳を中心とする自然環境をどう守り活かし広めていくのかを問う
- ②防災情報配信システム（防災無線）

鈴木 初夫 すずき はつお

- ①ゴミ処理問題について

鈴木 美香 すずき みか

- ①ガソリン・灯油等、価格高騰による生活費、交通費、光熱費の緊急時的な補助の考えは

茂木 法志 もぎ のりゆき

- ①まちづくりにおけるユニバーサルデザイン
- ②ユニバーサルツーリズムの促進
- ③医療的ケア児支援法施行について
- ④ヤングケアラーについて

小野 章一 おの しょういち

- ①町政と法令遵守について

高橋 久美子 たかはし くみこ

- ①帯状疱疹の予防接種の周知と公費負担
- ②選挙において投票しやすい環境を
- ③学校におけるコロナ対策で、冬期の換気による寒さ対策



石坂 武 議員

道路台帳整備がされたが 電子情報化しサービスの向上

問 道路台帳を整備されたが、内容は。

答 町長 紙で管理していた道路台帳を電子情報化する取り組みとしてGISを整備した。

問 電子化により、道路管理業務の効率化が図られることや、社会インフラの管理等、様々な情報を効果的に活用し、住民サービスの向上が見込める。

答 町長 GISによる道路台帳の見直しの効果は。

問 システムの導入により、道路実延長等の統一化がなされ、改良率において7・8%増の45・5%となった。

答 町長 システム導入による、重複投資の軽減と業務の効率化の寄与については。

問 税務課の航空写真を使い、各課で地図を作っていたものが、GISになった事により、全庁での利用が可能になった。

答 町長 要援護者の支援・消防活動の支援・空き家対策としての活用は。

問 要援護者情報は避難所や防災施設の分布状況が的確に把握出来るようになったり、避難ルートが予測が可能になった。

答 町長 消防活動では、地図上に防火水槽の位置が載っており、水利の確認が分かる状態。総合的な災害対策に寄与している。

問 空き家対策では、倒壊の恐れがある危険な建物の把握や、所有者への早期連絡が可能になった。

都市計画税廃止地区への対応は

問 令和3年度より、水上地区中部5地区の都市計画税が廃止になった。課税廃止後直ちに、地区説明会を開催すべきと思うが、何故11月25日になったのか。

答 町長 地区説明会については、早々に開催すべきところ、認可変更手続きに係る県との調整や、代替措置の検討等の準備に時間を要した。

問 地区説明会で出された意見、内容等は。

答 町長 出された意見としては、地域への説明会が遅い。目的税である都市計画税において下水の建設費用、湯桧曾公園計画費用の財源としての使途額の説明を求められた。汚水処理計画の見直しにおける自治体の状況についての意見や

質問をいただいた。

問 説明会には、副町長が出席したが、事の重大性から最終的には、町長が出席すべきと思うが。

答 町長 私が出て行く必要があるような会議であれば、今後は出て行きたいと思っている。

問 今後の説明会の開催時期は。

答 町長 あまり時間を置かずに行っていきたいと思う。



令和3年11月25日に行われた地元説明会



阿部 賢一 議員

統合は心に寄り添う体制で

教育長

多くの先生方と対応したい

問

令和4年に新生「みなかみ中学校」が誕生する。長き伝統と歴史に幕を閉じる4校の閉校式典及び閉校記念誌はどうするのか。

答

教育長

閉校記念誌を制作することを進めている。閉校式典も予定している。

問

記念誌は一般の方に有償だが金額は。

答

教育長

価格については検討する。

問

施設の跡地・空き施設の利用は。

答

教育長

水上中学校は10年しか経過していないので、令和3年度実施設計を行い、令和4年度プールの新設や、小学校の基準に合わせる改修を実施し、令和5年度移転させる予定。藤原中学校については、小学校の老朽化が激しいため、中学校へ移転できないか、令和3年度基本調査を行い、可能であれば改修し移転したい。

新治中学校については、利用可能な備品等を一年間保管し、いつでも利用できる状態にしておく。

問

空白の期間がないよう利活用は。

答

町長

有効活用できるよう、積極的に取り入れていきたい。

問

通常登校できない児童生徒は増加傾向にあるか。

答

教育長

いろいろな要因はあるが増加傾向にある。

問

統合で不安を抱えている生徒・保護者の方もいる。一人一人の心に寄り添う、手厚い体制が必要だ。どのように開校を迎えるのか。

答

教育長

人的配置や相談体制を整備し、多くの先生方と対応していきたい。

問

はじめの一步は大事だ。体制を整える財源は。

答

町長

教育委員会の要望通り対応したい。

福祉の充実

問

障害者の車イス補助は1人1台が原則。屋内用車イスにも補助を。

答

町長

町単独の補助事業をどのようにしたらいいか、情報収集し研究していきたい。

問

免許証返納した高齢者のシニアカー購入時に対する、補助事業を考える時期ではないか。

答

町長

非常に良いことだと思う。研究していく。

各校合同の新校歌練習会
歌う前にストレッチ

阿部 清 議員

TNR活動への助成は どのような支援ができるか検討

問

町では犬及び猫の避妊等、手術費補助金制度がある。殺処分になる犬及び猫を減らすことや、良好な生活環境を保持することを目的に、手術費用の一部を補助している。申請件数は。

答

町長

令和2年度実績は、犬14件、猫129件の合計143件。交付金額は、95万3100円となっている。

問

昨年度、捨て犬、捨て猫として保護された頭数と、殺処分された頭数は。

答

町長

保護件数は4件発生、犬3頭、猫3匹。犬2頭は飼育者が判明し、犬1頭と猫3匹は動物愛護センターへ引き継いだ。その後の動向はわからないが、令和2年度の前橋市、高崎市を除く県内の処分数は、犬49頭、猫587匹と確

認している。参考までに町内道路等での死骸収容は犬1頭、猫27匹となっている。

問

地域猫活動、TNRという活動がある。この活動は、野良猫を捕獲して、不妊去勢手術を施して元のテリトリーに戻すことで、野良猫の繁殖をおさえ自然に数を減らす方法。こうした活動があることをご存知か。

答

町長

*注1 Tはトラップ（捕獲）、Nはニュート（不妊手術）、Rはリターン（元の場所に戻す）の略。

*注2 不妊手術済のしるしに耳先を桜の花びらの形にカットして手術済のしるしにすることで、猫が二度手術される危険防止のための重要なしるし。

問

町長

こういった活動は知らなかった。

答

町内のTNR活動でなかった必要経費は、すべてボランティアの方が負担している。何らかの援助なり助成制度が必要と思うが考えは。

問

町長

ボランティア団体の支援の在り方については、どのような運用支援ができるか検討していきたい。

答

町長

公益財団法人どうぶつ基金の取り組みに「さくらねこ」という活動がある。この活動は、さくらねこサポーターとして全国からの寄付や支援金で運営され、現在、多くの自治体がこの活動に登録している。町も登録してはと思うが考えは。

*注2 不妊手術済のしるしに耳先を桜の花びらの形にカットして手術済のしるしにすることで、猫が二度手術される危険防止のための重要なしるし。

*注2 不妊手術済のしるしに耳先を桜の花びらの形にカットして手術済のしるしにすることで、猫が二度手術される危険防止のための重要なしるし。

答

町長

地域猫活動支援事業の推進を図りながら、この基金事業についても調査研究をしていきたい。



さくら耳の猫

答 町長
装着後のデータ管理、システム等を含め、自治体がどのように活用していけるか検討する必要がある。

問

2022年4月に施行される改正動物愛護法では、犬や猫へのマイクロチップの装着が義務化される。すでに犬や猫を飼っている方で装着を希望する方への補助も必要。

答

町長

自治体の中にはすでに費用の一部を補助しているところもあるが、町の考えは。

答

町長

装着後のデータ管理、システム等を含め、自治体がどのように活用していけるか検討する必要がある。



本多 公保 議員

大規模太陽光発電の設置に規制を

町長 議会提案で町民の理解を

問 そこかしこに設置されている太陽光発電、太陽光パネルということではないか。見解は。

答 町長 立地場所や、運用の仕方によつては、生活環境や景観等に影響を及ぼすおそれがある。

問 乱開発に近い太陽光発電でも、現行法や規定をクリアしていれば止めることが困難。各自治体はジレンマに陥っている状況では。



答 町長 町ではガイドラインにより、発電施設の設置運用に携わる人に、環境面での課題を指導している。すでに稼働している施設や計画書の案件に対しては、個別指導や計画の見直しは難しい。

問 町は2050二酸化炭素排出ゼロ宣言をしている。ゼロ宣言とはどういうことか。

答 町長 二酸化炭素をはじめとする、温室効果ガスの排出量から、植林や森林管理などによる温室効果ガス吸収量を差し引いた合計をゼロにするということ。町は恵まれた自然環境や森林環境を生かして出来ることからいきたいと思います。

問 ユネスコエコパークに認定された町と、太陽光発電との整合性は。

答 町長 あまり自然破壊につながるような計画は、町民が少し考えたほうがよいのではないかと、ということになればよいと思う。

問 大規模再生可能エネルギー設置のため、森林を切り開き、緑を減らすことは、本末転倒の行為ではというのはい過ぎか。

答 町長 再生可能エネルギーを整備していくことは大切。町に設置に関するガイドラインがあるから、それに基づいて指導していく。



問 ガイドラインは守られていないと思う。景観の問題、安全性の問題、広範囲な課題に関する条例制定は。

答 町長 条例化に反対するわけではないが、いかに町民のご理解をいただくかが大事。議会として充分議論を繰り返して、議員提案の形で条例化が進めば、より町民の理解される施策になっていく。



窪田 金嘉 議員

2年後、予算が組めない。なぜ。毎年10億円程度の財調を取り崩し運営

問 予算編成はあと2年のみ。歳入減少に合わせた歳出抑制が必要。必要なものでも事業を行わない政策が必要とある。具体策は。

答 町長 町税収入は徐々に減少し、年々一般財源が減少。今後は、これまでの取り組み方法、職員数の削減や、限られた基金を取崩し、事務事業の見直しを行い、行政資

源をより効率的かつ効果的に活用する必要がある。公債費の抑制は、継続して起債の圧縮と早期返還に取り組む。具体的には、毎年度の償還額以上に新たな起債を借りないように調整。

問 公債費の抑制は、令和2年度決算で公債費が97億円。そのうち臨時財政対策債が38億円。本来は残るべきはずがないものが残っている。臨時財政対策債は公債費39・1%を占める。公債費の削減、抑制ができるのか。

答 町長 臨時財政対策債は、本来国が地方交付税として配分すべきものを、税収不足によって地方自治体が臨時財政対策債を借入れて対応。臨時財政対策債を借入れるのは町。また、臨時財政対策債は地方債という長期借入金。臨時財政対策債の償還を現在10年で実施。交付税措置上は20年。その償還終了までは残高は残るとい形。町債の発行を抑制しつつ、継続的に町債残高を減少させていくことが重要。

問 経常収支比率95%は義務的経費。つまり、人件費と公債費と扶助費が高い。人件費は職員の定年延長で抑制しにくい。扶助費は高齢化が加速し効果的な施策は考えにくい。経常収支比率95%を90%以下にできるのか。

答 町長 経常収支比率は、公債費の削減により低下する見込み。毎年度の公債費以上に新たな起債を借りないように調整。業務の見直しを進め、経費や扶助費等の削減を目指す。経常収支比率を90%以下とすることはハードルが高いことは承知しているが、高い目標を掲げて行財政改革に取り組まなければならない。





中島 信義 議員

谷川岳の自然環境をどう守るか

町長 関係団体と協力して取り組む

問 谷川岳を中心とする自然環境をどう守り活かしていくかを伺う。

答 町長 谷川岳エコツーリズム推進協議会、環境省及び県委嘱の自然保護指導員等環境関係団体と協力し、環境保全に取り組んでいる。

問 登山者の安全は基本自己責任。町として最低限の安全策を告知、周知しているのか。

答 町長 指導センターやインフォメーションセンター、ホームページ、掲示板などで発信している。

問 谷川岳周辺には登山道はかなりある。町として最低限の補修、整備の対応は。

答 町長 特に登山者の利用が多いルートは重点的に整備している。

問 谷川岳周辺には年6万人が来ている。その90%が天神尾根コースに集中。補修、修繕が不十分である。今後の対策は。

答 町長 天神尾根コースは県の貸付け区間。自然環境への影響を最小限にとどめて整備したい。

問 登山道及び避難小屋の改修、補修等々の実行部隊を創設しては。

答 町長 整備・改修の組織を創設する予定はない。事前に担当課に相談いただければお手伝いしたい。

問 町内にチャップボミゴケや褐鉄石筍、石門など貴重な資源が発見されている。これらを広め活用する考えは。

答 町長 大変珍しいもの。まずは保全の取り組みが最優先。専門家の



谷川岳 肩の小屋

意見を伺い対応していきたい。

問 今までの質問は町が主体となつて、県・国としっかりと協議連携を取り守って行くことが必要。現状認識を持つて対応に当たってほしいが。

答 町長 貴重な資源を守って行くのは町だけではできない。皆さんの協力をいただきながら守り、広めていく活動をしていきたい。

防災情報システム

問 個別受信機は1400台用意済み。残り600台。人が大勢集まる場所等への配備予定は。

答 町長 必要に応じ公共施設、指定避難所など多くの方々が集まる施設等に配備予定。

問 スマホ等の、受信障害がある場所は。

答 町長 人家のないところの一部で、電波が弱いと聞いている。受信状況が不安定な場合は、状況に応じ柔軟に対応したい。



鈴木 初夫 議員

町の調査と対応は

町長 経費削減と広域化を検討

問 RDFの処理費について、当初、t当り2万円で処理できたものが、現在は4万円近くで処理されている。これは町が一方的に出荷量を減らす旨の話から始まった。受け入れ先は、トレーラーまで購入し、受け入れ準備をしていたが、全量出荷でないため、断念した。この責任はどこにあるのか。

答 町長 議会の最終報告がされている。それ以上のものについては把握していない。

問 処理費が約二倍になった事で、町の税金が数億円無駄に使われている。奥利根アメニティパーク建設会社本社に処理費の削減や処理場の相談に行ったのか。

答 町長 行っていない。

問 RDFの生産と処理費は、t当りいくらか。

答 生活水道課長 算出の方法により違いが出るが、輸送費と合わせて、概ね10万円。

問 尾瀬クリーンセンターへ可燃ゴミ約700t処理委託をしている。それはよいこと。他の市町村にも受け入れの打診は行ったか。

答 町長 現在、探しているところ。正式な話にはなっていないが、一部受け入れてくれる市町村がある。

問 遊神館の敷地内に、実証試験用建屋があるが、その建屋の所有者並びに撤去については。

答 町長 関係書類の受付はされなかったもので、無許可の状態。したがって、誰が建設したのか、誰の所有物なのか現在是不明。

問 ゴミ処理調査特別委員会の最終報告を踏えて、町としてどのような調査を行い、どのような対応を行ったか。

答 町長 RDFボイラーの実証試験施設への対応、可燃ゴミ処理経費の削減策、一般廃棄物処理の広域化を見据えながら検討し、実行していく。



奥利根アメニティパーク



鈴木 美香 議員

緊急時的な補助の考えは

町長 非常に難しい

問 ガソリン高、灯油高は、町民の皆様にもその影響は大きく、原油価格高騰による影響は生活全てに関わるものであり、最重要課題だが。

答 町長 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除などを受けて、町内経済が動き出す中、個人消費や企業活動への影響が非常に心配。さらに、これから暖房の利用も多くなり、冬場を迎え、住民生活に影響することが予測され、懸念している。

答 町長 国がいう生活困窮者とはどういう方を指しているのか、それらの情報は全然ない。町としても把握しかねている。

問 対象にならなかった世帯が、困っていないというのと捉えるのはいかがなものか。原油の高騰等による影響というのは、身近に入り込んでいる。私たちの生活に密着する現象になってくるが。

答 町長 これは町でどうのこうのできる問題じゃないので、非常に厳しい。

問 公務員の寒冷地手当とは。

答 町長 国の法律に基づき、冬期

期間における暖房用燃料等、生計時の増嵩分を補填する趣旨で、1万7800円〜7360円、冬期間月額支給されている手当。

問 国の交付金は、困窮者という条件がついている。公務員は受け取っているという条件で外し、残りの5千6百世帯ほど、納税をされている方々を対象に月千円の補助は。

答 町長 私は、非常に難しいと思う。

問 公務員が寒冷地手当を受け取っている町で、町民も同じように生活している。コロナで中止になったイベントがある。それを使い町もこの冬を、この不安な時代を寄り添って、町民の方々と一緒に乗り越えていきましようという姿勢が見えると思うが。



答 町長 生活困窮者への手当は、当然やっていく。ただ、公務員の寒冷地手当と同様なものを考えろというのは、どうかなと思う。財政の裏付けがないと、すぐこれからの財政に響くような結果につながってしまう。ちょっと難しいのでは、という判断。



茂木 法志 議員

ユニバーサルデザインに対する考えは

町長 ハード・ソフト両面で検討

問 誰もが安心して快適に利用できる環境づくりユニバーサルデザインに対する考えは。

答 町長 ハード・ソフトの両面から適切な在り方を検討するとともに、施設の修繕や改修に併せて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの対応を推進する。

や、その情報不足などにより外出が制限される場合もあることから、旅行をためらったり諦めたりする方が多い。旅行形態が多様化する中で、幅広い施策が必要となるが、このような現状を踏まえ、

ユニバーサルツーリズムの推進について研究をしていきたい。

問 現地調査を含め、ユニバーサルツーリズム資源マップの作成や、補助金の周知など、今できることは。

答 町長 障害者等が不自由と感じていることの把握や、実際に障害のある方と接している事業者からの情報収集に努める。他の自治体の取り組みなどを参考に、対応方法や問題点を関係機関と横断的に議論を深める。公共施設や宿泊施設等における設備の把握、利用者の需要や民間事業者の意向について、関係者に意見を聞く。等々、どのような施策が必要で、効果的であるかを検証していきたい。

医療的ケア児支援法

問 施行に伴う町の対応は。

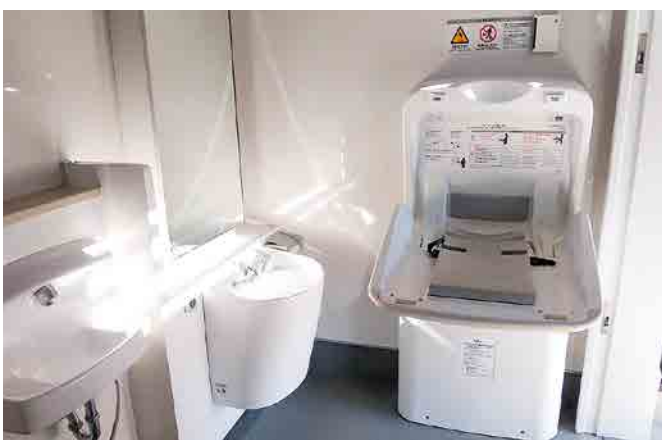
答 町長 健康面及び発達面において、特別支援が必要である児童の教育・保育を担当する職員の加配を実施している園に、町単独で民間保育園等障害児保育事業費補助金を交付している。障害福祉サービス事業、病院、診療所等、福祉医療の各関係機関との連携が今まで以上に重要になってくると考えている。

体制整備に向けては、人数把握、ニーズ把握等に加え、予算確保が重要。関係課で連携を図って適切な時期に、適切な情報共有をし、必要な支援ができるよう研究検討していきたい。

問 ユニバーサルツーリズムは観光客の増加や地域活性化に大きく影響すると思う。

町におけるユニバーサルツーリズムの促進についての考えは。

答 町長 障害者や高齢者においては、ユニバーサルツーリズムに対応する設備が整っていないこと



町内のオストメイト対応トイレ



小野 章一 議員

町政は法令遵守が求められる

町長の 町民の信頼を失わないよう取り組む

問 町の事業執行にあつては、法律をはじめ条例・規則・要綱等、様々な要件を満たさなければならぬ。また、公務においては、法律に精通した中での行政管理、社会良識上してはならないことなどがあり、誠実な対応が求められているが。

答 町長 町民の信頼を失わないよう取り組む必要がある。RDFボーラー施設は、公有地に議会の承認なく建設。ホロントウ水道給水関係は令和元年度完了としたが、事業はその時点では未着工であり、水道法及び補助要綱を見る限り、法を犯した大変な問題でもある。この二点の対処は。

RDFボーラー施設は、公有地に議会の承認なく建設。ホロントウ水道給水関係は令和元年度完了としたが、事業はその時点では未着工であり、水道法及び補助要綱を見る限り、法を犯した大変な問題でもある。この二点の対処は。

答 町長 トップのすべき義務であり責任でもあると思うが。

問 職員は、法律・政令等に準拠し、公務の執行をしなければならぬ。町民の信頼を失う行為はしないように取り組む必要があると考えている。

答 町長 職員は、法律・政令等に準拠し、公務の執行をしなければならぬ。町民の信頼を失う行為はしないように取り組む必要があると考えている。

答 町長 RDF建屋については、法的な対応があるので顧問弁護士と相談し対応。水道問題補助金のあり方に対しては、適正化に向け取り組みたい。

問 法令を無視し、事業による住民への重い負担や不安が残るようでは困る。その為にも検証委員会の設立を求めたい。

答 町長 私の認識では、すべての情報を示し、議会の判断をいただけているので、検証委員会を立ち上げる考えはない。



問 9月議会定例会での決算監査報告の指摘事項には、RDF関係及びホロントウ水道関係は担当課において調整中。関係者との調整も重要であり、早急な解決が望まれるとしている。

問 RDF問題においては、議会特別委員会最終報告後2年、ホロントウ水道問題発覚後1年3ヵ月が経過。法に対する適正化の確認等、未だに検証もされず、非常に残念。問題の先送りではなく早期検証することが、行政



高橋 久美子 議員

带状疱疹ワクチン接種費用助成は

町長の ワクチン接種前向きに検討

問 带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルス、水痘・带状疱疹ウイルスが原因の病気。水ぼうそうにかかると、治った後も体内に潜み続けている。水ぼうそうにかかったことのある人は、带状疱疹になる可能性がある。加齢や疲労、ストレスなどの免疫力低下で带状疱疹として発症。ほとんどの成人や高齢者が带状疱疹のリスクを有している。

問 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について見解は。

答 町長 ワクチン接種で、かかる人が少なくなるということであれば、ぜひ前向きに検討していきたい。

带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について見解は。

答 町長 利用者の人数は。今後も継続的にこの施策に取り組んでいくのか。

答 町長 町民の方々から投票支援への要望を受け、委託にかかった費用は一式で税込み18万5千円。利用

用者数14人。継続的な実施を視野に、引き続き検討していきたい。

学校におけるコロナ対策

問 専門家の方は、やはり寒くても屋内換気が必要と呼びかけている。しかし、学校に子供を通わせる家族の方は、風邪など、寒さを心配する声も。空気清浄機などは使っているのかとの声も聞く。学校では当たり前と思っても、保護者の方は空気清浄機を完備した上での換気対策と認識されていない方も多いと思うが。

答 教育長 ウイルスはある程度減らせる効果はあるわけだが、室内だけでの循環なので、総合的には空気清浄機を配置しても外気を入れ替えるような空気の循環が必要。

問 高齢者が元気で長く健康でいられる町実現のために、

答 町長 新しいワクチンなので、医師会等で有効性及び流通状況等を協議。広報・HPで周知したい。

問 令和3年10月の選挙から期日前投票所への無料送迎車の取り組みが始まった。この取り組みの目的、予算措置をした額、

答 町長 合併直後は25か所。現行20か所。

問 従来からの投票所は何か所減になったか。

投票しやすい環境を

第4投票所（下区集落センター）
下足のまま入れるよう配慮されています

ふるさとクイズ

問題



20ページで紹介した移住コンシェルジュ
は何人でしょうか？

- (A) 2人
- (B) 3人
- (C) 4人

前回の議会だより 68号ふるさとクイズの
正解は『③藤色』でした。

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。
以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いた
します。

参加の
きまり

下のハガキまたは、裏面の FAX
用紙などに、クイズの答え・住所・
氏名・議会だよりの感想を記入し、
お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ず
のり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・感想」係
締切：2022年2月28日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・感想」係

379-1390

料金受取人私郵便

沼田局承認

865

差出有効期間
令和5年3月
31日まで
(切手不要)

記入欄は裏面にあります

山折リ線



たくみの里わらアート「寅」

「みなかみ町移住コンシェルジュ」は、先輩移住者としての経験を
活かし、移住を検討している方への情報提供や相談対応、さらには
移住者の支援などに取り組みます。

令和2年、町が委嘱した4人の「みなかみ町移住コンシェルジュ」
を紹介します。

すずき ゆういち
鈴木雄一さん
大阪府出身 町組区在住

2016年移住。
移住と起業の支援団体
一般社団法人 FLAP代表理事。
「移住ではなく定住に向けた、
人に寄り添う取り組みを行いた
いです。」



きた やま いくと
北山郁人さん
愛知県出身 藤原中区在住

12年前に家族で移住。
「町のお宝を発掘しています。
より多くの人に、みなかみ町の
魅力を伝えていきたいです。」

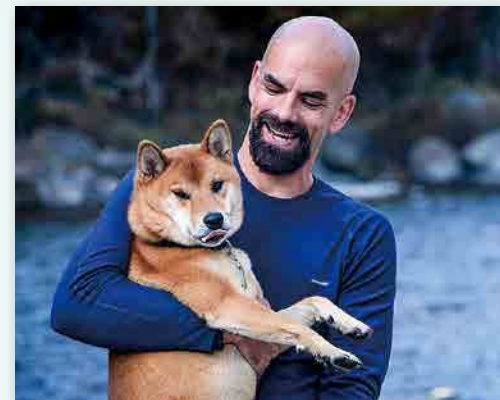


うの まさ ゆき
宇野将之さん
広島県出身 赤谷区在住

2013年に都内から移住し
起業。宿泊・飲食業の経営者。
「みなかみ町の子も達が必
ず帰ってくるまちづくりを
頑張ります！」



令和2年度、町に転入した人は
472人、町から転出した人は
593人。転入から転出を差し引
くと、121人減です。移住を希
望される方への情報発信はとも
大切です。移住コンシェルジュの
皆さんに期待します。



ミックガワン・コリーさん
アメリカ出身 下牧区在住

20年前から日本に住んでいて、3
年前に家族と東京から移住。
「みなかみ町を、子ども達も彼らの子
ども達も、残って住みたい町にしたい
です。」



町の
お宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていきたいため、
議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何もないうことない。」
このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。

移住コンシェルジュ



皆さんの
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。
FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇨ _____

○差出人住所 ⇨ 〒 _____

(ふりがな)
○差出人氏名 ⇨ _____

○年代 ⇨ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください。

…………… 流 れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**3月 8日（火）～
3月18日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

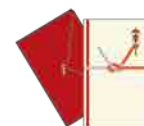
席数：34席

【問合せ先】議会事務局

☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…阿部 清
副委員長…鈴木 美香
委員…窪田 金嘉・本多 公保
高橋久美子・森 健治
中島 信義
編集アドバイザー
利根川太郎
編集モニター
利根商業高等学校生徒



秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



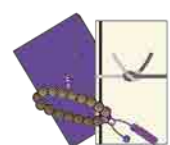
入学祝・卒業祝



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



お祭りへの寄付や差し入れ



秘書などが代理で出席する場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



お歳暮やお年賀

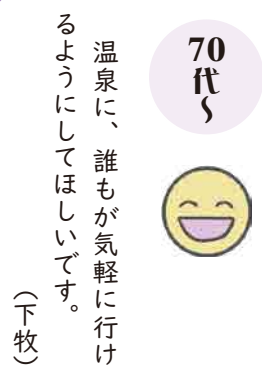


地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、左記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

よせられた
感想



〈顔マーク 利根商生 作〉



編集モニター

利根商生徒会



68号の特集記事。特別定額給付金を受給しなかった人は、手続きが大変で申請しなかったのですか。

特別定額給付金は、国が12兆8800億円を負担し、基準日に住民登録がある方を対象に10万円を支給した事業です。町の受給率は99.75%で、未申請の方へは、給付金担当者が訪問するなど、プッシュ型の促しをしましたが、申請を拒む方や住所地にいない方、連絡が取れない方、それぞれの理由で未申請者ゼロには至りませんでした。

国はデジタル改革を推進し、機械が出来ることは機械に任せ、それで空いた人の手を、本当に大変な方へ向けられる温かな社会を目指しています。「手続きが大変という方、ゼロ」を目指したいですね。

利根商サッカー部 全国高校サッカー 県大会ベスト8



いつまでが秋で いつから冬なの

清水 しみず

裕介 ゆうすけ

35歳(町組区)

優佳 ゆうか

35歳



地球をキレイに

――抱負は？――

町の人から与えられたことに対し、お返しができていません。町の方の多くは自分で何か作り出していますが、自分は何も提供できなく消費者のまま。町の一人として、何かをしたいと思っています。

――提案されたいことは？――

BRとSDGs未来都市の理念は素晴らしい。将来に向け考えていかなければならないこと。それを実現するために町や議会が目指すことや、活動を知らない人が情報として分かりやすく手に取れるようにしてはどうか。トップメッセージを動画で伝えるのは大事と思うので、例えば、町長や議員のメッセージを動画共有サービスで発信し、チャンネル登録した人へ通知され視聴につながる。そんなブッシュ型の情報発信をしてはいかがでしょうか。

――町民へのメッセージ――

受け入れてくださった皆さんへ感謝しかありません。

編集後記

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり皆さまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。

長引くコロナ禍と原油価格高騰の余波は生活に直結し、見通しの悪いトンネルではあります。四季の移ろいと同じように・・・

でも、それは同じ春でも去年とはちがう春であり、新しい時代です。

どのような年でも、どんな環境・場所でも、しなやかな強さで迎えられると思います。

新しい日を迎え、新しい自分に会うその一日が『最幸の日』でありますように。

(鈴木美香)



移住・定住シリーズ②⑨

裕介さんと優佳さんは千葉県のご出身。裕介さんは都内の企業へお勤めですが、テレワークで働いています。優佳さんは町内にお勤めです。

――町を知ったきっかけ――
FLAP（フラップ）のHPで知りました。

――なぜ、移住を？――

山暮らしや温泉に憧れがあったので、片品村でおためし移住をしたり、昭和村、川場村、軽井沢、那須などを見くらべたりし、新幹線の駅があることでみなかみに決めました。もう一つは「人です。移住促進、町政、議会の発信した情報を見て、新しい力を取り入れ、町を元気にしようとしている「本気」



清水さんご一家

四季がはっきりしていることが素晴らしい。子ども達の会話を傍らで聞いていたら「秋はいつまでで、いつから冬か」との議論。子ども達の出した答えは「秋は茶色とかオレンジで、冬は白」。彼らが自然を見ながら季節を理解することを楽しみました。

学校教育のカリキュラムはどこでも変わりなく、オンラインも通信教育もできるので、教育に関してのデメリットはないと考えます。いろいろな好奇心を持ち吸収できる幼少期は、もっと遊んでほしいと思います。都内で私立中学へ進学するよりも、みなかみの自然が与えてくれる教育価値の方が私たちにあって魅力があります。